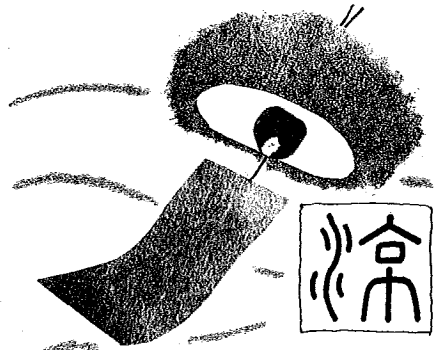


涼

【おん】 リョウ
すずしい・すずむ

11画 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

【なりたち】 冷(れい)の意味を借りた京(きょう)とシ(さんずい)との形声字で、「冷たい水」という意味の字。転じて、「すずしい・すずむ」の意味に用いられる。



【いとじゆく】

▼すずしい。すずむ。
涼気：涼しい空気。また涼しさを感ぜさせる気配。
涼風：涼しい風。すずませ。涼味：すずしさ。涼しい感じ。

【例】涼味を満喫する。(涼しさを大いに楽しむ。)
新涼：秋になったばかりの涼しさ。【例】新涼の候。(手紙の書き出しのあいさつ。)
清涼：さわやかで涼しいこと。

【例】清涼飲料水・清涼剤
納涼：夏の夜などに涼しさを味わうこと。【例】納涼お化け大会

▼何もなく寂しい様子。
荒涼：あれはて寂しいさま。
【例】荒涼とした風景

【よみかた】

涼雨・涼秋・夕涼み

鯨

鯨

【おん】 ゲイ
くじら

19画 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

【なりたち】 大きな町の意味の京(きょう)と魚(ぎょ)との会意形声字。本来は哺乳類(ほにゅう)の動物だが、昔は魚類と見られていた。くじら。



【いとじゆく】

▼鯨。
捕鯨：鯨を捕らえること。【例】捕鯨船
鯨油：鯨からとった油。
鯨飲：(鯨が海水を飲むように)酒をたくさん飲むこと。同じようないい方に「牛飲」などがある。

鯨波：①大きな波。②ときの声。(突撃などの時に大勢でいっせいにあげる声。)
鯨尺：昔使われたものさしの一種。布などをはかるのに使われた。その一尺はおよそ三十八センチメートル。

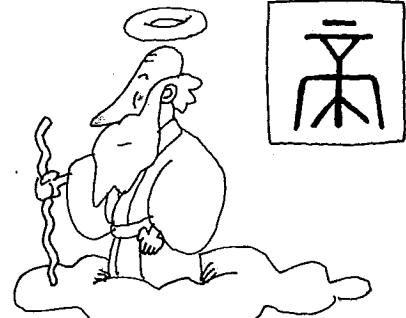


帝

【おん】 テイ

9画 一 一 一 一 一 一 一 一 一

【なりたち】 天(てん)の神を祭る台の形をかたどった字で、「天の神(てんのかみ)と呼ぶ」を表した字。転じて、「天子(てんしのこ)という意味」・王様(わうさま)の意味に用いられる。



【いとじゆく】

▼天の神。
天帝：①天上にあつて万物を支配する神。②エホバの神。(ユダヤ教・キリスト教の唯一の神。)
天子。みかど。

帝王：国をおさめる君主。王。
帝国：帝王が治めている国。
帝政：帝王の政治。
帝都：帝王のいる都。
大帝：偉大な王様。
女帝：女の王様。
先帝：先代の王様。前の王様。

【よみかた】

皇帝



帝

締

【おん】 テイ
しまる・しめる

15画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

【なりたち】 国を統一する意味の帝(てい)と糸(いと)の会意形声字で、糸がばらばらにならないように一つにまとめることを表した字。「しめる・しまる」と。

【いとじゆく】

▼しめる。しまる。
▼とりきめる。約束をむすぶ。
締結：条約や協定などをとりむすぶこと。【例】条約を締結する。

締盟：同盟や条約を結ぶこと。【例】締盟国
締約：条約を結ぶこと。
【よみかた】 取締役・元締め

